

## 令和元年8月度栗東市教育委員会臨時会会議録

開催日時 令和元年8月27日(火) 9:30~12:07  
開催場所 栗東市歴史民俗博物館 研修室  
出席委員 教 育 長 福原 快俊  
教育長職務代理者 田中 和子  
委 員 内記 一彦  
委 員 朽木 徳壽  
委 員 林 史代  
事務局出席者 教育部長(中濱)、教育総務課長(福田)、学校教育課長(田中)、  
学校教育課参事(平子)、学校教育課課長補佐(高野)、  
学校教育課指導主事(田中)、書記(濱田)

開会宣言 9:30

教育長

令和元年8月度臨時教育委員会を始めるにあたりまして、本日は、傍聴の申し出が7名ありましたので、栗東市教育委員会傍聴人規則第2条により、許可することに異議ございませんでしょうか。

各委員

異議なし。

教育長

異議なしと認めますので、傍聴を許可します。傍聴人を入室させてください。

皆様、おはようございます。傍聴人は、注意事項を遵守いただくようお願いします。なお、注意事項に違反したときは、退場を命じることがありますので、よろしく願います。

教育長

ただ今より令和元年8月度 栗東市教育委員会臨時会を開会します。

教育長

日程2 議案第5号「令和2年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」事務局より説明をお願いします。

学校教育課長

議案第5号「令和2年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」説明申しあげます。

公立の各小中学校で使用する教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市教育委員会で年度ごとに採択することになっております。

資料1の22頁～23頁をご覧ください。本市が所属する、教科用図書第二採択地区協議会の規程を載せております。この教科用図書第二採択地区協議会は、草津市、守山市、野洲市、湖南市、甲賀市、栗東市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。24ページが本年度の協議会委員の皆様です。

次に本日議決を求めることならびに第二採択地区での教科用図書選定までの経緯と結果について説明いたします。25頁が今年度の経緯となっております。

本年度は、小学校通常学級と、特別支援学級の計14種目について検討して行くということでございます。また、小学校「特別の教科 道徳」以外のすべての教科において、4年に1度の採択替えの年になります。

現在までに、各市より選出した委員による調査委員会については、5月30日から7月11日までの間にわたりまして、何度も協議を重ねて、本日お手元にあります報告書を提出していただきました。これに基づいて協議を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いをいたします。8月2日、3日の協議会では、小学校で使用する教科用図書、小学校 特別支援学級、中学校 特別支援学級の調査委員会より調査報告を受け選定し、第二採択地区としての議決を行いました。

中学校の教科用図書については、文部科学省、滋賀県教育委員会からは、「4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度採択における調査研究の内容等を活用することも考えること」との指導を受けていますので、平成28年度から平成31年度までの4年間、同じ教科用図書を使用することになっていることから、来年度も今年度と同じ教科用図書です。中学校教科用図書につきましては、来年度が大規模採択となります。

令和2年度使用教科用図書選定一覧は、議案書1ページからになります。

1～2頁が小学校 通常学級で使用するものの一覧と理由です。3～5頁は、特別支援学級で使用するものについて、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級用の外国語一般図書として、一冊目が、あかね書房『あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうに行く』、二冊目が、戸田デザイン研究室『ABC えほん』、三冊目が、学研『CDつき はじめての英語の

歌 歌でおぼえるらくらくイングリッシュ』、四冊目が、岩崎書店『CDつき 英語でよもう！はじめてのめいさく The Rolling Rice Ball おむすびころりん』の4冊が新たに選定されました。

続いて、中学校は、6～7頁が通常学級で使用するものの一覧と理由で、教科については、変更ありません。

中学校 特別支援学級の一覧は、8～10頁です。中学校特別支援「特別の教科 道徳」については、平成30年度道徳一般図書として4冊が選定されました。しかしながら、そのうち2冊、毎日出版の「やっぱり こういうときどうするんだっけ」という本と主婦の友社の「未来に向かう心が育つおはなし」という2冊が供給不能となりました。

そのために、供給不能となった一般図書を中心に選定作業を行い、その結果、資料にございますように、新たに2冊を道徳の一般図書として加えさせていただきます。1冊目が日本図書センターの「卒業しよう めんどくさがり」という本でございます。もう1冊が高橋書店の「ここを育てるおはなし 101」でございます。なお、弱視学級については、通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本の点字版の教科用図書を選定しています。以上でございます。

教科書選定については、全教科の調査結果を説明し、質疑応答の時間をとり、選定するという流れで進めます。慎重かつ円滑な審議にご協力いただきますようお願いいたします。

次にお配りしております報告書であります。特別支援学級用を除く教科については、調査研究の観点が様式1、各発行者の観点別評価が様式2、各発行者の調査研究結果が様式3、となっています。様式1の観点は滋賀県教科用図書選定審議会から示された観点を参考に設定しています。また、「第二採択地区の子どもたちにとって学習しやすいか」について、ユニバーサルデザインの視点や分量や重さ、大きさに留意し調査をお願いしております。さらに、「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているかについて、新たに第二採択地区観点の項目を設けました。それらの観点に基づきAを最良として以下Dまでの評価をしているものが様式2の観点別評価であり、様式3の調査研究結果はその教科書の特色を幅広く記載しています。選定の資料としてご参照いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

教育長

議案第5号について説明を頂きましたが、今日まで委員の皆様には十分ご覧頂いているところではございますが、特別支援学級の英語や一般図書もございますので、再度ご覧頂きまして、事務局より説明を受けた後、ご意見を頂きたいと思ひます。少しお時間を頂きましてご欄いただきますようお願いいたします。

(10分間 閲覧)

教育長

ただ今、文部科学省検定本、ならびに「特別支援学級」一般図書をご覧頂きました。

協議会において、調査委員会より報告されました「調査結果の概要について、事務局よりお願いします。

学校教育課課長補佐

それでは、協議会にて調査委員会から報告されました教科用図書について簡単にご説明申し上げます。

まずは、国語でございます。資料は、26から33頁をご覧ください。

国語は、調査観点が11観点です。調査の結果、「東京書籍」は11観点中Aが9個、「学校図書」、「教育出版」はAが1個、「光村図書」はAが10個となり、「光村図書」が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは「東京書籍」です。

東京書籍の特徴は、巻頭で「話す・聞く」項目について特別なページを設け、1年間を通して留意する内容を示していることです。また、人とのコミュニケーションや情報の伝達に軸を置いた単元が多く、「伝え合う力」や「日常生活」との整合性もあります。

また、日本の伝統文化として、四季折々の古文、短歌、俳句などに対する知識、造詣を段階的・重層的に学ぶことができる内容となっています。各学年の目標に合わせて、巻頭で「情報」に関する大まかな内容を紹介することで、1年間の見通しを持ち、学習を進めることができます。音読に適した教材や読みを深める教材等が発達段階に応じて系統立てられ、「本は友達」では、著名人の読書体験などとともに多くの本が紹介され、読書生活に生かせるようになっています。

第2地区観点の現代的な諸課題についても、バランスよく取り上げられており、生命、諸外国、世代間の関わりなどについて、自他の考えの共通点・相違点を出し合いながら考えられるように配慮されていました。

しかし、どの学年も情報量や問題数などが多く、児童にとってすべてを消化できないこともあるのではないかと懸念がありました。

それに対して、光村図書では、四季折々の言葉や季語、俳句や短歌、古典作品が写真と共に掲載され、言葉の調子や響きを楽しめる構成になっています。全学年で従来から大切にされてきた言葉の使い方や成り立ちなどがバランスよく取り入れられています。身に付けるべき指導事項が明確であり、「情報」の取り扱い方ではどのような力をつけていけばよいのかも明記されているので、説明文教材や文学教材と関連付け、ポイントを絞って学習を進めることができると思われます。特に、今回の改訂より、新たに加えられた「情報の扱い方に関する事項」に関して、特設ページを設けて、その視点を意識しながら教材文を読み進められる配慮をしてあるところに大きな

特徴が感じられます。

説明文教材では、従来の教材に加えて、これからの社会を生きるためにどうしていけば良いか考えられる教材も新しく取り入れられています。

「読むこと」の単元末には、本の紹介とともに、教科書教材との内容・構成などの関連が示されていて、並行読書に活用したり読書の幅を広げたりできるように工夫されていました。

現代的な諸課題について学年ごとにテーマを決めて取り上げられており、生命、諸外国、環境などについて考えられるように配慮されていました。

以上のように、トータルとしてバランスのよい仕上がりとなっていることから、4社の中で、「光村図書」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、【書写】でございます。資料は、34ページから41ページをご覧ください。書写は、調査観点が6観点です。調査の結果、「東京書籍」と「光村図書」は6観点中Aが5個、「学校図書」は0個、「教育出版」は2個、「日本文教出版」は3個となり、東京書籍と光村図書が全ての観点において優れていました。

東京書籍の手本の文字は均整が取れており美しいです。ユニバーサルデザインの視点におき、鉛筆の持ち方のページで、左右どちらの持ち方も掲載しており、左利きの児童に対しての配慮がうかがえます。また、巻頭で姿勢を例示する写真では、女子はスカートという決めつけでなく、スカートやズボンをはいたり、1年生の巻頭ページの写真では父親が読み聞かせをしていたりと全体として多様性を強く意識した内容になっています。また、世界の暮らしや世界の文字のいろいろを取り上げ、国際理解、多文化共生の視点でも配慮があります。教科書の大きさは、AB5判でワイドになっています。

次に光村図書です。手本の文字は、均整が取れていて美しい文字になっています。学習の学び方やユニバーサルデザインの視点において全学年とも、子どもにとって大変わかりやすい構成になっています。導入で、2つの文字の比較をさせる事で学習課題をつかみ、学習のめあてを明確にしています。紙面の文字も、学ぶ視点を大きく取り上げ、余計な物を省きスッキリしています。情報が多すぎてつまずきやすい児童にとって大変学びやすくなっています。ユニバーサルデザインフォントも採用しており読みやすいです。また、アイヌ文化を調べた新聞の作り方を提示したり、音の信号機の内容を取り上げたりと人権尊重の視点があります。また、東日本大震災で新聞社が発行した手書きの壁新聞を取り上げたり、環境美化のポスター内容を扱ったりして、防災や環境にも配慮があります。

両社を比較するポイントとして、教科書の大きさが上げられます。東京書籍は、教科書が大きいことを特色としていますが、3年生以上の毛筆は、準備物が大変多く、児童の机上には、硯や墨池、筆、文鎮、毛筆下敷きと半紙とが用意されます。教科書が大きいと、机上がいっぱいになり、それだけで困ったり、道具や教科書を扱いにく

くなったりする児童が多くなると予想されます。学びやすさの点から教科書が大きいことは大きなリスクとなってしまいます。

光村図書の教科書は、その点におき手頃であり、重さも軽くなっていて児童にとって扱いやすくなっています。また、ユニバーサルデザインの視点や、多様性の視点とも網羅しており、課題解決学習の視点での学びにも導いていることから、光村図書が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、社会でございます。資料は、42から48頁をご覧ください。社会は、調査観点が6観点です。調査の結果、「東京書籍」は6観点中Aが4個、「教育出版」は2個、「日本文教出版」は6個となり、日本文教出版が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは「東京書籍」です。

東京書籍は、5・6年生の教科書が分冊になり健康面に配慮されています。しかし、分冊になっているため、学習したことを振り返り学習するには不向きです。例えば、6年生の学習で年間を通じて人権の視点で学習を進める際は、以前の学習を振り返ることができる合冊の教科書の方が望ましいと考えます。3年生では、今回の改訂で「市」の学習が取り入れられました。東京書籍は「福岡市」を扱っており第二採択地区の市の様子と内容がかけ離れています。伝統工芸についても他社は「焼き物」を扱っており、信楽焼に繋げやすいですが、東京書籍は「硯」を取り上げており、第二採択地区に内容が合っていません。

新学習指導要領では、児童の「学びに向かう力」の実現が求められています。そのために、教科書をどのように使うのが大切です。東京書籍では、教科書の使い方「つかむ・調べる・まとめる・いかす」について詳しく説明されています。しかし、1割程度教科書が進んでから記載されています。つまり、1ヶ月程度学習が進んでから教科書の使い方が出てくるということです。これは調査委員会としては、出てくるのが遅いという意見になりました。尚、他の2社の教科書は、最初に出てきます。これらのことから、第二採択地区としては使いにくい。と調査委員会では考えました。

日本文教出版は、5年生で、公害（環境問題）について3社の教科書の中で一番詳しく取り上げています。6年生の教科書は、合冊になっており、人権・平和学習について年間を通じて一貫して学ぶのに適しています。この環境・人権・平和の取り上げ方は、第二採択地区独自観点の考え方に合致しています。3年生の教科書では「湖南広域消防局中消防署と大宝東小学校」が取り上げられており、児童の興味を喚起します。教科書の学習指導に関わる構成では、「教科書の使い方」「調べる・話し合う・まとめる・つたえる」が最初に取り上げられています。児童の話合いの場面や発展的な内容も示され、児童の主体的な学びを促しています。また、単元ごとに学習課題・学習計画が効果的に配置されており、新学習指導要領に準じた学習構成になっています。

以上のことから、新学習指導要領の趣旨に一番準じており、第二採択地区に応じた

社会的事象を取り上げていることから、日本文教出版が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、地図をご覧ください。資料は、49から52頁をご覧ください。

地図は、調査観点が5観点です。調査の結果、「東京書籍」は5観点中Aが1個、「帝国書院」は5個となり、帝国書院が最も良い評価となりました。

国土を表す地図は、東京書籍は見開き2枚、帝国書院は見開き1枚です。帝国書院は、択捉島から沖縄島・与那国島・尖閣諸島まで国土として、1枚の地図で理解を促しています。また、帝国書院は、色彩にメリハリがあり情報量が整理されていることから見やすいです。そして、「国土の地図」と「各地方の地図」の中間にあたる「広く見渡す地図」があり充実しています。

世界地図は、東京書籍は、アジア等の地域ごとに国と地形（砂漠・山脈等）を取り上げた地図になっています。帝国書院は、東京書籍と同じような地図に加えて、特に国々を意識した地図を取り上げています。また、日本と結び付きが強いアメリカ合衆国についても別に取り上げています。

第二採択地区観点についても、帝国書院は、世界の人々と共存していく観点では、世界地図に「生まれ！世界の子どもたち」のコーナーがあり、世界の子どもたちの写真や国々の文化が取り上げられています。また、環境については、統計の中でゴミや自動車の台数を取り上げています。

以上のことから、帝国書院が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、算数をご覧ください。資料は、53から60頁をご覧ください。

算数は、調査観点が8観点です。調査の結果、「東京書籍」は8観点中Aが2個、「大日本図書」は6個、「学校図書」「教育出版」「啓林館」「日本文教出版」は0個となり、大日本図書が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは東京書籍です。

東京書籍は、どの観点についても概ね良いと評価しました。特に大変良いと評価したのは第2観点、第5観点です。第2観点では、めあてがはっきり示されており、見通しを立てて学習ができるように構成されており、「今日の深い学び」や単元末の「つないでいこう算数の目」で、数学的な見方・考え方を伸ばすことができます。また、第5観点では、「いかしてみよう」「ますりん通信」で、身の回りにある事象と関連付けて学習が進められるよう工夫されています。

また、第8観点では、「防災」や「残食問題」など、現代的な課題も扱っています。教科書には、法則や用語の説明も丁寧で、図や表、イラストなどの視覚情報も多く掲載されていて良いのですが、盛りだくさんで、かえって情報が多すぎて焦点化しづらいという課題もみられます。

大日本図書は、多くの観点で大変良いと評価しました。特に内容に関する第1～第5観点すべてで大変良い評価です。めあてがはっきり示されており、考え方に焦点を

当てたまとめ「発見！考え方」を設定し、考え方のよさや共通点を考える課題が多く、巻末の「ひらめきアイテム」も利用できるよう考えられています。「じっくり深く学び合おう」などで、多様な解決方法を例示したり説明や話し合いの場面を豊富に設定したりして、思考力だけでなく表現力の育成にも適した構成になっています。さらに、第8観点で、登場人物が男女偏りないのはもちろん、外国にルーツをもつ児童や車いすの児童など、国際色豊かで多様性を認めている点が大いに評価できます。最後に、学年1冊の合本は重さに問題がありますが、既習事項のふり返りがしやすく、学び直しに効果的だと評価できます。

以上のことから、ほとんどの観点で大変良いという評価となりました「大日本図書」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、理科でございます。資料は、61から68頁をご覧ください。

理科は、調査観点が6観点です。調査の結果、「東京書籍」「大日本図書」は6観点中Aが3個、「学校図書」は2個、「教育出版」は4個、「信州教育出版」は0個、「啓林館」は6個となり、啓林館が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは教育出版です。

教育出版は、理科の学びを通して子どもたちが未来を切りひらくための力が身につくように、自ら考え社会と向き合い他者と協働して問題を科学的に解決できるように編集されています。巻頭の「学習の進め方」で、問題解決の流れを示し、各単元では鉄腕アトムキャラクターがナビゲーションをして、学習の流れを意識させています。重要語句にはマーカー処理の工夫もあります。また、巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を掲載し、話し合い活動を充実させています。「地球となかよし」マークや「環境ミニ図鑑」（6年生）ではさまざまな環境保全の取組を紹介しています。教科書は、A4判に近い大きさで、ページが多く、平均して最も重たいです。人権的にはパラリンアートを採用しています。滋賀県の資料は1か所でしたが、5年生の「川と災害」のように、防災減災の視点で学習できるようになっています。

啓林館は、子どもの学びやすさと教師の指導のしやすさを大切にした教科書になっています。「問題」の前に「問題をつかもう」が設定されており、唐突な印象や指示的な印象というものはありません。また単元のはじめに「学習のめあて」を明記し、問題解決のステップをフラッグと1本のラインでつなぎ、学習の流れがわかりやすいです。また、単元の最後に導入と同じ問いかけがあり、自己の成長を自覚できるようになっています。さらに全単元の多数のQRコードにより、子どもはもちろん、教師や保護者にとっても使いやすくなっています。特に単元末のQRコードは1問1答式のチェック問題が出てくるので、まとめや家庭学習のサポートとしても有効です。写真はダイナミックで美しく、文字も大きめですっきりしています。単元配列ですが、6社の中で、啓林館だけが5年生の「植物」「メダカ」「人のたんじょう」の3つの単元を連続させています。科学的な見方や考え方を育てるためには、適切であるという意

見で一致しました。滋賀県の資料も4か所あり、車いすや外国籍児童の挿絵等が6社の中で最多で、防災への意識も高いです。

以上のことから、「啓林館」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、生活でございます。資料は、69から78頁をご覧ください。

生活は、調査観点が5観点です。調査の結果、「東京書籍」と「啓林館」は5観点中Aが4個、「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「信州教育出版」「光村図書」が2個、「日本文教出版」は3個となり、東京書籍と啓林館が全ての観点において優れていました。

東京書籍は、新指導要領で提示された3観定のいずれにおいて、工夫されています。鮮明な写真や図はととも見やすく、人権や環境に関する表記も丁寧で、総合すると高い調査結果となりました。課題は、教科書サイズがもっとも大きく、残念ながら、多くの学校で利用している机の引き出しに入らないとう点があげられます。

啓林館は、新指導要領に提示される新たな3観定のいずれにおいても工夫や配慮がみられ、8社のなかでもっとも高い評価結果となりました。QRコードの提示や子どもの作品や鮮明な写真を用いるなど、観点4も高評価となりました。観点5では、環境に関する記載は少ないものの、多様な人々が自然な形で登場するなど配慮がみられます。

以上のことから、「啓林館」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、音楽でございます。資料は、79から84頁をご覧ください。

音楽は、調査観点が8観点です。調査の結果、「教育出版」は8観点中Aが4個、「教育芸術社」が8個となり、教育芸術社が全ての観点において優れていました。観点①では、教育出版は、低学年では、難易度が高い教材曲が含まれ、段階をおった知識理解を押さえるうえで、難しさが感じられました。教育芸術社は、各学年にバランスよく配置され、題材や教材と的確に関連づけて身に付けられるようになっていました。

観点③では、音楽の2領域である表現と鑑賞の活動を関連させながら、表現の工夫を考える手立てが適切に扱われているのが、教育芸術社であり、教材ごとに表現と鑑賞が別々に扱われており、楽曲全体を考える手立てとしては、十分ではありませんでした。

観点④は、どちらも音楽の楽しさやよさを見いだせる教材・学習内容でしたが、教育出版社はリズムや強弱など、発達段階よりも難しい構成になっている部分がありました。

観点⑤では、表現と鑑賞の一体化を鑑みた題材構成がのぞまれます。教育芸術社は自然な流れで一体化され、協働して取り組める構成になっています。

観点⑥⑦⑧については、どちらも配慮された構成になっていました。特に、人権尊重につきましては、我が国の郷土の音楽や諸外国の音楽を幅広く取り入れ、音楽のよ

さを感じられるよう配列されています。また、音や音楽が復興の希望となったり、音楽を通して活躍されている生き方にまでふれたりする配慮もされていました。

以上のことから、「教育芸術社」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、図画工作でございます。資料は、85から88頁をご覧ください。

図画工作は、調査観点が8観点です。調査の結果、「開隆堂」は8観点中Aが5個、「日本文教出版」が6個となり、日本文教出版が優れていました。

観点1については、両社ともキャラクターを設定するなど児童が制作イメージを持ちやすい工夫がなされています。特に日本文教出版は、生活に身近な図形や自然物を題材に多く取り上げることで、色や形の面白さに触れられる工夫が秀逸です。

観点2では、両社とも各学年で取り扱う材料や用具について適切に取り上げわかりやすく説明しています。また、開隆堂は、多くの用具について、その技能を動画によって確認できる手法を取り入れている点は、今後の教科書のICT化を見通す意味でも大変すばらしい工夫であると考えます。

観点3については、様々な児童作品が掲載され、チャートや完成までのプロセスを紹介するなど、発想や構想のヒントが盛り込まれています。日本文教出版は、題材名だけでなくリード文を併記したり、吹き出しを多用したりするなどして活動の見通しを持たせる工夫があります。

観点4については、言語活動の充実をめざすとともに、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫が両社ともに見られます。

観点5については、両社とも日本の伝統工芸だけでなく、普段の生活や地域の文化・芸術など適切に取り上げられ、美術・芸術が身近なものに感じられるよう工夫されています。

観点6については、日本文教出版は、見開きを多用し児童の思考の流れが分かりやすく示されています。開隆堂は児童の作品や図を大きく掲載し、児童自身がそこからヒントが得られるよう工夫されています。

観点7については、日本文教出版は児童の手元の写真が分かりやすく掲載されています。開隆堂は、掲載されている写真が見やすくなるよう背景の配色に配慮が見られ、大きな写真、少なめな文字情報といったユニバーサルデザインの視点に特色が見られます。

観点8については、開隆堂は日英表記を用いたりQRコードを活用したりして、グローバルな感覚を大事にしています。日本文教出版は、現代の諸課題を積極的に扱い、SDGs、災害、人権、多様性、共生など各学年にちりばめ考える機会としている点が第2採択地区の独自観点から高く評価できます。

以上のことから、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、家庭でございます。資料は、89から93頁をご覧ください。

家庭は、調査観点が7観点です。調査の結果、「東京書籍」は7観点中Aが3個、

「開隆堂」が5個となり、開隆堂が優れていました。

単元の構成について、東京書籍では、ミシンの学習は5年生と6年生が重ならない年間計画となっていますが、開隆堂は2学年がほぼ同じ時期となります。学年でミシンの取り合いを鑑み、別の時期が良いという意見もありましたが、修理や調整が1回で済み、地域の方が外部講師として来ていただくためにも5、6年同じ時期が良いという意見が多くありました。

また、東京書籍はやや文字量が多く、説明が丁寧すぎる感もしました。

各単元のタイトルは、東京書籍は「○○しよう」と意欲を持たせる意図がみられます。開隆堂は「なぜ○○なのだろう」とまず単元の内容について考えさせる導入となっています。次期学習指導要領では「主体性」が強調されています。まず、なぜこの学習をする必要があるのだろうと児童が考え、学びに向かう姿勢を高めることが必要であることから、開隆堂のタイトルの方が適しています。

また、平和・国際親善・いじめ・人権といった課題や第二採択地区の現状に適しているかという点について、写真やイラストが開隆堂に国際色がみられるとともに、障がい者や高齢者を積極的に取り上げています。

最後に、東京書籍は巻頭にQRコードが掲載され、13頁分の映像配信がなされるようになっていきます。それに対して開隆堂は頁の随所の右上にQRコードが配置されており、そこを読み取れば即座に内容に即した映像が流されることになっていることから使いやすいと考えます。第2採択地区には外国籍の児童が多数在籍しております。その子らには映像による指導が欠かせないものとなっていることから、文字量の多さよりも、開隆堂の配慮は大変ありがたいと委員から高く評価されました。

以上のことから、「開隆堂」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、保健でございます。資料は、94から101頁をご覧ください。

保健は、調査観点が6観点です。調査の結果、「東京書籍」は6観점에서Aが5個、「大日本図書」は0個、「文教社」は1個、「光文書院」は3個、「学研教育みらい」は6個となり、学研が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは東京書籍です。

「東京書籍」は、学習指導要領に示された内容を、児童の発達段階に即してわかりやすく作成されています。1単位時間の学習の進め方が4つのステップ「気づく・見つける」、「調べる・解決する」、「深める・伝える」、「まとめる・生かす」とわかりやすく、章末の「学習を振り返ろう」を設定するなど、学習内容を整理し知識の定着が図られるよう工夫されています。特に、「深める・伝える」では、問題点を話し合う活動を取り入れたり、実践しやすいように、詳しく具体的な資料を多く取り入れたりしています。

第二採択地区の観点は、がん予防や様々な依存症等、現代に関わる病気についての記載が多くあります。また、ユニバーサルデザインやパラリンピック選手のコラムな

ど共生を考えることができる工夫があります。他者に対するアドバイスを考えるコーナーが多く、自他ともに命・健康を考えられる機会が多いと考えます。

「学研教育みらい」は、学習指導要領の内容に即して、簡潔に作成されており、「心の健康」や「けがの防止」の対処法や手当などの技能が身につくようにされています。また、学習の最後で「振り返る、深める・つなげる」で自分を見つめこれからの生活に生かせるようになっていきます。また、課題がつかみやすい資料を用いたり、日常生活で起こりうる場面を設定したりしています。写真資料やデータが多く、新しいものが使われており、児童にとって考えるためのよりどころとなる資料となっています。

文字の大きさも適切で、2頁で、導入からまとめまでが見やすくまとめられ、見通しをもって学習ができるようになっていきます。

現代における諸問題（インターネット犯罪、自転車の加害事故、アレルギー等）を分かりやすく取り入れ、身近な問題から命・健康について考えられるようになっていきます。

以上のことから、「学研教育みらい」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、【外国語】でございます。資料は、102から114頁をご覧ください。

外国語は、調査観点が8観点です。調査の結果、「東京書籍」は8観点中Aが7個、「開隆堂」「啓林館」は1個、「学校図書」は0個、「三省堂」は3個、「教育出版」は2個、「光村図書」は5個となり、東京書籍が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは光村図書です。

光村図書は、QRコードを利用し、アニメーションストーリー映像を上手く組み込み、英語を具体的に使う場面や状況を把握しやすく、英語を聞きたい意欲が高まる工夫があります。ノンバーバルコミュニケーションも意識し、日本語での投げかけが上手く、他者の尊重や配慮を大切にしています。大判（AB版）で、ステップ見開き2ページを活動の挿絵に使用しています。ホワイトボード式ペンマンシップ・シートで文字練習が繰り返し可能です。（付録）また、同じ種類の情報を常に定位置に配置し、迷わず取り組めます。しかし、活用する資料の中に、英語の単語やセンテンスの量が多く、またテキスト内に視覚教材が少ない分推測して読むことが難しいと考えます。

東京書籍は、デジタルコンテンツ（QRコード）が豊富で、児童が自然に英語の表現に触れ、出会える工夫がされています。やりとりの活動が豊富で、テキスト内にスペースのゆとりがあり書き込みも自由に出来ます。その分、児童にとって「やったー」という充実感が残ります。性差や国柄、男女の家事意識など幅広く、バランスよく配慮され、現代の諸課題（人権や平和等）がオールマイティに配列され、アラブ・イスラム圏にも話題が及んでいました。付録のピクチャー・ディクショナリーが様々な活

動の際に、容易に使える必修アイテムとなります。さらに、指導者用のデジタルブック（デジタル指導書）が、一年間無料で付いてきます。

外国語活動・英語科では、まずは、言葉を大切に感じ、外国語の音声に気づき、慣れ親しみ、「外国語を通して」「身近な材料や話題」を元に、児童自ら「思考し」、状況や環境を理解した上で、「目の前の相手や他者とのコミュニケーション」を図ることが求められます。さらに、それら獲得した知識やスキルをどのように「役立てる」かが大切になります。総合的に判断した時に、東京書籍さんがオールマイティで、バランスがとれていることから、最も適切であるという結果になりました。

続きまして、特別の教科道徳でございます。資料は、115ページから124ページをご覧ください。

道徳は、調査観点が8観点です。調査の結果、「東京書籍」と「光村図書」が8観点中Aが2個、「学校図書」と「廣済堂あかつき」は0個、「教育出版」は1個、「日本文教出版」は6個、「光文書院」と「学研教育みらい」は5個となり、日本文教出版が最も良い評価となりました。2番目にA評価が多かったのは「光文書院」と「学研教育みらい」です。

「光文書院」は、言語活動をもとに多様な学習活動ができるよう「読書案内」「名言名句の紹介」「ノート例の紹介」「調べ活動の案内」が随所に設けられております。現代的な課題にかかわり、より深く学習させたい内容を「重点課題」として複数時間で扱い、続けて学習できるように編集されております。とりわけ「情報モラル」につきましては、読み物教材とは別に各学年に特設コーナーが設けられております。これは見開き2頁の構成で、6年間で系統立てて学べるように工夫されたものです。自然災害からの復興を教材にしたものは内容が前向きであり、また、1年生の「みんなでたのしく」の見開きの場面絵では肌の黒い子、金髪の子、車いすの子など、いろいろな子が描かれているように、人権尊重を初めとする今日的な問題への配慮があるものとなっております。

「学研教育みらい」は、A版という大型の教科用図書です。見開き構成の紙面に、考えさせたい場面のイラストや挿絵、写真などが大きく取り入れられ、児童の感性に訴えながら学習できるように編集されております。いじめ問題を直接的なかたちで取り扱っていないものの、これにつながるさまざまな価値の教材がそろえられております。とくに、「いのち」や「情報モラル」をテーマにしたものを多く取り上げております。学習にあたっては、ロールプレイができるように紹介したり、「つなげよう」で実際の生活に生かしていくよう促したりしております。教材に関連する内容のコラムもあり、補助的な資料として活用できるようになっております。情報モラルを扱う教材では、SNSの実際のやりとりの場面や利用状況を提示し、身近な問題として考えられるようになっております。

「日本文教出版」は、人権教育、いじめ防止について、文部科学省の「人権教育の

指導方法等の在り方について」のとりまとめ、人権尊重の方針が踏まえられております。多くの小学校で取り組まれている人権週間そして人権集会、いじめ0宣言など、児童の活動を支えていくものとして注目できる教材が配備されております。また、発達段階に即した学習活動への配慮、とりわけ幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続が図られるための配慮として、入学当初の学習では、読むこと、書くことの負担が軽減されております。「心のベンチ」の頁が要所所に設けられ、教材と関連した情報を提供したり、体験的な活動や問題解決的な学習を促したりしつつ、広く深く学習できるようにしております。どの教材も、見開きを基本に、右頁の初めに見出し標題がつけられ、末尾に学習活動を促すコーナーがある、わかりやすい構成となっております。5年生では琵琶湖フローティングスクールが取り上げられております。

現在、第2採択地区では、道徳科は「学研教育みらい」が採用されております。しかし、各学年とも、新たな教材の差し替え、そして学習する順番となる目次の並び替えが、ずいぶんなされておりました。

そこで、第二採択地区の状況、課題といったものなどがいかに盛り込まれているか、単なる言い合いに終始するのではなく、自分のこととして見ていくことができるような配慮がなされているか、対立したままで終わるのでなく、よりよい道筋を拓き、互いの理解が深まっていくにはどうするとよいかなどかについて協議した結果、「日本文教出版」が最も適切であるという結果になりました。

続きまして、小学校特別支援でございます。資料は、125から163頁をご覧ください。

令和二年度より新しく導入される「外国語科」につきまして一般図書を中心に選定作業を行いました。その結果、次の4冊に決定しました。

一冊目が、あかね書房「あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうにいく」、二冊目が、戸田デザイン研究室「ABCえほん」、三冊目が、学研「CDつき はじめての英語の歌 歌でおぼえるらくらくイングリッシュ」、四冊目が、岩崎書店「CDつき 英語でよもう！はじめてのめいさく The Rolling Rice Ball おむすびころりん」です。

それでは、選定しましたそれぞれの本につきまして、説明させていただきます。

(1) 「あかね書房の学習えほん えいごえほん ぞうさんがっこうにいく」あかね書房①ぞうさんが朝起きてから、学校に行き、帰るまでの様子をストーリーで描いているため、自分と照らし合わせて考えやすく、親しみの持てる内容となっている。あいさつや日常で使える会話文が多く、話してみよう、聞いてみようという意欲につながる。また、カタカナで読み方の表記がされていて、外国語への抵抗が少ない。②子どもたちにとって興味が持ちやすい内容になっており、学校の場面に合わせてテーマごとに構成されており、状況に応じた会話や単語に親しむことができる。楽しみなが

ら理解でき、もっと知りたいと思える内容もあり、児童の実態に合わせて効果的に学習を進めることができる。③学校での一日を扱っているため、身近な単語や表現が使われていて親しみを持ちやすい。Hello, Good bye などの日常でよく使われるセンテンスが大きく太文字で目立つため、音声から文字への意識がしやすくなっている。

④文が長すぎず、簡単な表現が使われているため、外国語と日本語が対応しやすくなっている。英語、読み方のカタカナ、日本語とそれぞれの表記を統一しているため、違いに気付きやすくなっている。⑤さし絵はその場面の状況を適切に表現していてイメージしやすいため、興味を持ちやすく、また、理解の一助となる。イラストに沿って役割演技をするなどの学習を取り入れることができる。

(2) 「ABC えほん」戸田デザイン研究室①英語でのコミュニケーションに必要な基本のアルファベットが大きく表示されており、わかりやすい内容である。日常でよく目にする物事の英単語であるため、興味を持ちやすく親しみやすい。②アルファベットの順に1ページに1文字ずつ配列され、シンプルで分量も適切である。インパクトのある絵で分かりやすく、興味・関心が持てる。③アルファベットの文字が大きく、指なぞりができるなど、音声から文字への学習意欲へも促せる。④英語、日本語ともに書かれているので、両者の違いに気付けるように工夫されている。英語にはアクセントがつけられているので違いを比較しやすい。⑤さし絵や文字は1ページに1つと大きく、色合いもカラフルではっきりとしているので児童の目に留まりやすく適している。

(3) 「CDつき はじめての英語の歌 歌でおぼえるらくらくイングリッシュ」学研①アルファベット・数・曜日の歌などもあり、基礎的な内容となっている。挨拶の歌やペアで行う手遊び歌もあり、コミュニケーションを図る基礎を育てることができる。②CDがついており、曲を聴きながら楽しく手遊びなどで英語と触れ合うことができる。季節ごとに曲が配列されており、年間を通じて季節に合った曲で活動することができる。③歌詞が英語と日本語で併記されており、音声から文字への関心を高めることができる。日本語の歌詞が直訳してあるものなので、英語の歌詞との対比もしやすい。④CDから流れる音声によって、ネイティブな発音に慣れ親しむことができる。CDがついているため、普段から聞きなれている曲に英語の歌詞が当てはまることを知り、その違いに気づくことができる。⑤手遊びやジェスチャーの説明が図でわかりやすく示されている。さし絵の画風が歌ごとに違い、見ているだけでも、楽しく興味を引く構成となっている。

(4) 「CDつき 英語でよもう！はじめてのめいさく The Rolling Rice Ball おむすびころりん」岩崎書店①児童のよく知っている話なので、物語を頭に置きながら聞くことができる。また、さし絵を見ながら聞くことで、英語の言葉や言い方に関心が持ちやすく、自分も話してみようという意欲がわきやすい。②1年生の国語科や2年生の音楽科で取り上げられている物語なので、どの子にも親しみやすく、登場する

人物や物の名称も単語としてつかみやすい。猫の鳴き声やくりかえしの歌は覚えやすく、興味や関心をもって取り組める。③CDを繰り返し聞くことで英語の表現に慣れ親しむことができ、音声から文字への学習意欲につながる。④同じさし絵の日本語版が巻末に掲載されているので、英語と日本語を比べやすい。さし絵だけで物語や場面がわかるので、さし絵を見ながらCDを聞くと英語と日本語の表現の違いに気づくことができる。⑤さし絵が大きくほのぼのとした雰囲気で見やすい。また、さし絵だけで場面が理解できるので児童の関心も高く、言葉が入りやすい。

以上でございます。

続きまして、中学校特別支援でございます。資料は、163から182頁をご覧ください。

平成31年度 道徳一般図書として4冊が選定され、そのうち2冊「やっぱり こういうときどうするんだっけ」と「未来に向かう心が育つおはなし」が供給不能となっています。そのため、供給不能となった一般図書を中心に選定作業を行いました。その結果、新たに2冊を道徳の一般図書として加えました。1冊が日本図書センターの「卒業しよう めんどくさがり」と、もう1冊が高橋書店の「ここを育てるおはなし 101」です。選定理由といたしましては、「卒業しよう めんどくさがり」日本図書センターは、①誰もが抱く「めんどくさい」という身近な感情を多面的に捉え、決して負い目を感じるものではないということ、さらに、面倒くさい感情とうまくつきあっていく手立てがわかりやすく示されており、よりよい生き方を探っていく内容となっている。②日常的に抱く面倒くさいという感情を題材に、解決に向けて系統立てて構成されている。また、1時間の授業で扱うのに適した分量に設定されており、年間を通し計画的に活用できる内容になっている。③文字の大きさも適切で読みやすい字体で表記されており、漢字にはルビが打たれている。イラストの中の吹き出しは会話しているような字体が活用されている。大きな章やページの見出しが大きくはっきりと表記されており、その授業での目当てがわかりやすく、見通しを持って取り組みやすい。④ページいっぱい広がる親しみやすい手書き風の絵で、場面に応じたイラストが主人公の心情に迫れるように適切に描かれている。「なぜ、すぐに面倒くさくなるのだろう」と、興味を持ちながら読み続けることができる構成となっている。

「ここを育てるおはなし 101」高橋書店は、①生徒が物語を通して、多様な考え方や感じ方に接することができ、物事を多面的に考えることができる。さらに、自分で考えを深め、判断できる力を育むことができる内容となっている。②生徒の発達段階に合わせて、「楽しみ方」で様々なお話を選ぶ工夫がされている。1章から4章に進むにつれて、緩やかに次の段階へと導くようにお話が並べられている。③カラフルな色使いを用いて、お話の内容を区別している。また、言葉のリズムや台詞の繰り返しを楽しむところから、お話の世界に想像を巡らせるところまで無理なく

取り組めるように工夫されている。④昔話だけでなく、詩や童話など8つのジャンルに区分されており、幅広い関心を持って読むことができる。また、ページごとの様々なタッチのイラストは、生徒が抱く感情と一致しており、生徒にもわかりやすくなっている。以上でございます。

#### 10分間 休憩

教育長

それでは、再開させていただきます。

ご質問、ご意見を賜りたいと思います。どなたかございませんか。

それでは国語から、ご質問、ご意見を賜りたいと思います。どなたかございませんか。

田中委員

光村図書と東京書籍の評価は、僅差です。再度、この両社を決定する際、決めてはどこだったのか。

学校教育課課長補佐

両社ともうまく作られていたのですが、教える側として、東京書籍の方は、丁寧に作られています。しかし、教える内容が多く、全てを消化するには配当時数がぎりぎりになるのではないかとということがありました。第2採択地区の児童の様子を思い浮かべながら、考えていくと、光村図書の方は、ポイントを絞って教える内容の軽重の融通が利くということから、光村図書が選定されています。

田中委員

その他の出版会社の違いは、どこにありましたか。

学校教育課課長補佐

教育出版では、「スイミー」を1年で扱ったり、電気を5年生で扱ったりして、他社よりも早い段階で取り上げている教材がみられております。子どもたちの発達段階にあっているか検討が必要ではないかという意見もありました。他の会社では、「スイミー」は2年生の上巻で扱っており、教育出版の大きな特徴ではありますが、第2採択地区の子どもの様子を考えると、やはり、2年生が適当であろうという意見が多くありました。

田中委員

「スイミー」については、私も、2年生の発達段階が適当と思います。

指導内容について、どこかの社を例にして、教えていただけないでしょうか。

学校教育課課長補佐

教育出版、東京書籍、学校図書の3社は1年生の漢数字の教え方の単元を見ていただくと、数え歌の次に同じような漢字の教え方があり、丁寧すぎる。同じ内容を続けて進めていかないといけない。それに対して、光村図書は、1ページに数え歌、次頁に、数え歌と書き順だけになっていて、内容の重複が少ないということで、児童にとっても学びやすいのではないかという意見がありました。

林委員

第2採択地区の観点としてどうでしたか。

学校教育課課長補佐

現代的な諸課題についてバランスよく取り上げられており、生命、諸外国、世代間の関わり、環境などについて、自他の考えの共通点・相違点を出し合いながら考えられるように配慮されています。しかしながら、バランスよく取り上げられているが量がやや多く、配当時間のことを考えると、実践していくうえでやや不安があるように思います。以上のことから光村図書を選定しております。

教育長

それでは国語については、以上とさせていただきます。

続きまして、書写について、質問、ご意見を賜りたいと思います。どなたかございませんか。

内記委員

教科書の大きさはそれほど重要なのか。

学校教育課課長補佐

3年生以上になりますと、毛筆の授業となります。机という限られたスペースでは、やはり少しの違いが教科書を使う子供にとって大きな障壁となることも考えられますので、光村図書を選定しております。

朽木委員

光村図書と他社の鉛筆や筆の持ち方などはどのように示していますか。

学校教育課課長補佐

東京書籍は、情報が多く文字量が多いです。光村図書は実物大で鉛筆を持つ手や紙を押さえる手が示してあり、その方が児童にとってはわかりやすいと思われます。子どもにとって、わかりやすいことが大切であり、光村図書を選定しております。

教育長

それでは書写については、以上とさせていただきます。

それでは社会について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

内記委員

東京書籍は、分冊になっているが、デメリットなのか。

学校教育課課長補佐

分冊になっているのは、東京書籍だけです。以前に学習した内容の振り返りが難しいです。学習指導要領に、自ら学びに向かう力を育てるという観点があります。合冊になっている方がよいと思われます。ですので、分冊ではない日本文教出版を選定しています。

内記委員

教科書の構成の違いについてももう少し詳しく教えてください。

学校教育課課長補佐

教科書の使い方の部分についてですが、3社の違いは、「話し合う」が入っているかということです。なぜ、これが重要視されるのかは、学習指導要領の改訂により、主体的・対話的で深い学びの育成がキーワードになっていることがあります。これを意識することで、「話し合う」と明確に示されていることは、学習指導要領に沿ったものであり、指導も進めやすいという構成が良いとの判断がされて、日本文教出版を選定されています。

田中委員

三年生だったと思いますが、中消防署や大宝東小学校が掲載されていたと思います。社会科では、やはり地元のことが多くある方が親しみやすいかと思います。知っている建物等があることは、大きなポイントになろうかと思いますが、どうなのでしょう。

学校教育課課長補佐

社会科は、地理分野で地域社会について学ぶことがあります。3年生では「市」に

ついて学びますので、より身近な題材となり、生活と結び付けられることを考えますと、栗東に近いところの話題があれば学びが広がりやすさがあると考えられて、日本文教出版を選定しています。

教育長

それでは社会については、以上とさせていただきます。

それでは地図について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

田中委員

地図の中にイラストがいくつかあるのが気になるのですが。学習として心配はないのでしょうか。

学校教育課課長補佐

これは、両社ともに人物イラストなどがあり、コメントもついています。そのコメントにより、児童の興味を引き、自ら学びを広げるように描かれていると思われませんが、確かに気になるポイントではあるとの意見が調査委員会でも出ていました。

教育長

そうですね。地図のデータに、イラストや吹き出しコメントがあるのは、違和感を感じますね。田中委員と同じように感じました。

朽木委員

東京書籍と帝国書院の大きな違いは、どこにあるのですか。私には違いがわからなかったです。

学校教育課課長補佐

帝国書院は、地図から、社会、環境へと自分で学んでいけるだけの資料が用意されているということが、話合いの中でも出でいます。学びに向かう力の育成ということも考えると、学びが広げやすいのが帝国書院であるとの意見が決定的な意見でした。

教育長

それでは地図については、以上とさせていただきます。

それでは算数について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

林委員

算数は計算などの練習問題の数の違いは、どうでしたか。

学校教育課課長補佐

問題数自体には、大きな差はなかったのですが、啓林館では、難易度が高いものがあり、東京書籍では、説明などは丁寧でしたが、情報量が多すぎることがありました。教育出版では、穴埋めが多く、ドリル的になりやすいということもありました。大日本図書は、公式等もシンプルで分かりやすく、既習事項をもとに学習が進められることが特徴であります。

田中委員

大日本図書と東京書籍で、特にこの両者で違いがよくわかるところはどこがありましたか。

学校教育課課長補佐

3年生の割り算のところを見ていただきたいと思います。東京書籍は、上巻41P 大日本図書は、59Pを見比べていただきますと、どちらも20割る5の答えを求め問題になっています。東京書籍のほうは、式を作った後にヒントのコメントがあり、そのあとに、めあてが記されています。大日本図書は、式があり、そのあとに、めあてが分かりやすく大きく記されています。何をするために考えるのかが明確な分だけ、取り組みやすいと考えました。

教育長

それでは算数については、以上とさせていただきます。

それでは理科について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

林委員

啓林館と他社との差はどこでしたか。

学校教育課課長補佐

子どもがどこに興味関心や、疑問を感じてほしいのかを、「問題をつかもう」で、明確にめあてを設定していることで、見通しも立てやすくなり、また、単元の終わりに、導入と同じ問いがあり、単元の振り返りをするすることで、学びを確かなものにするができるのと、さらなる疑問を見つけることもできるのではないかという意見もありました。他社もそのような形で、問題解決学習が設定されているのですが、内容や学習の進めやすさでは、改善の余地があるものが多くありました。

内記委員

実験や観察の内容については、他社とも大きな差はないように感じました。

どのような差がありましたか、教えてください。

#### 学校教育課課長補佐

実験や観察の内容については、各社大きな違いはありませんが、そのまとめ方、考察で特徴が出ていました。そのまま、実験の結果を例示し、まとめていく会社、考えさせるために、まとめ、考察のところを吹き出しにしてある会社、単元のポイントを示し、「結論」と見てわかる会社などありました。また、まとめのところで、情報量が多く、重要なところが分かりにくくなってしまうことなどもありました。そのあたりのことも含めて、比較したときに、啓林館の内容や分量が適切だろうと考えました。

#### 朽木委員

教科書のページ配置についてですが、4年生の教科書で見させていただきますと、教育出版23P「記録を整理しよう」、啓林館16P「春の記録をまとめよう」がほぼ同じ内容だと思いますが、まとめ方については、啓林館の方が分かりやすいように感じたが、どうでしたか。

#### 学校教育課課長補佐

具体的にどのようにまとめていくのかということでは、啓林館の方にはまとめのイラスト表示がされているので、分かりやすい感は、ありますが、実際には、ノートやワークシートなどでまとめていきますので、そこには教師としての工夫の余地があると思われまます。しかし、このそれぞれのページでは、教育出版の方は、記録を整理することと、チャレンジ課題が1ページにあり、次のページからは、新しい単元になります。啓林館は、まとめることで1ページを使い、次のページにつなげようということで、次の疑問につながるような表記がされています。このように次につながる新たな疑問を投げかけることは、新学習指導要領で求められる学びに向かう力の育成にもつながると捉えられます。適している学びやすさでいくと啓林館となります。

#### 教育長

それでは理科については、以上とさせていただきます。

それでは生活について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

#### 内記委員

東京書籍と啓林館で、防災や安全教育についてどのような違いがあったのかご説明をお願いします。

学校教育課課長補佐

防災や安全教育については、どの教科書にも取り上げられていますが、両社について比較すると、東京書籍は、教科書作成の大きな柱として、保護者とともに学ぶということがあり、保護者と一緒に考えたりすることがあります。ですので、防災や安全教育についても、上巻 24P では、保護者と連携した活動が提案されています。一方、啓林館の方は、上巻 18P を見ていただくと、自然災害、交通災害、人的災害について記されており、保護者への働きかけは単元上部に記されています。人的災害という項目を入れている点からも、啓林館の方が、より現代的なリスクについて、対応できる力が身につくのではないかと考えまして、啓林館が選定されています。

林委員

東京書籍の方は教科書が大きくなっているが、その点について、カバンの中に入るのかなどは考えられましたか。

学校教育課課長補佐

東京書籍は、教科書のサイズを大きくすることで、イラストや写真が大きく見やすくなっています。しかしながら、このサイズは、カバンには入りますが、机の引き出しには入れにくいサイズとなっています。その点では、整理整頓という視点からは、扱いにくさがあることも考えられます。また、書写と同様に机という限られたスペースで使用するという点についても考慮しました。

教育長

サイズも決めてのポイントだったということですね。

教育長

それでは生活については、以上とさせていただきます。

それでは音楽について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

田中委員

4年生でのリコーダーのサミングで吹くところは、教育芸術社と教育出版では、写真が大きい教育芸術社の方が分かりやすいように感じたがどのように評価されたかを教えてください。

学校教育課課長補佐

全体的に操作のイラストや写真は、教育芸術社の方が大きく見やすい感じがありました。子どもにとっても、わかりやすさがあると思われます。同じ4年生の教科書

で、「琴を引く」を見ていただくと、教育出版の方は、演奏者を対面から見た写真があり、引く姿勢などを示しています。一方、教育芸術社では、演奏者を上から見て斜めの座り具合などが分かりやすくなっていることや、糸の名前を示しているところでも、教育出版では、横から見た図、教育芸術社では上から見た写真に、「座る位置」と示してあります。視点が共通している方が理解しやすいのではないかとということもあり、教育芸術社を選定しております。

#### 教育長

それでは音楽については、以上とさせていただきます。

それでは図画工作について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

#### 朽木委員

一年生教科書どちらも見やすく、発想が豊かになっていくようだが、子どもにとって、どちらが分かりやすいでしょうか。

#### 学校教育課課長補佐

わかりやすさには個人差もありますが、見通しの持ちやすさでは、各ページの初めの部分では、開隆堂では、単元名の横には、その単元で使う道具、材料などが示され、左ページ中ほどに「学習のめあて」があります。一方、日文の教科書では、単元名のすぐ横に、黒板の形で、項目ごとに「学習のめあて」が書いてあり、わかりやすいという意見がありました。なお、どちらの教科書にも、「安全について」「片づけについて」は丁寧に示されていました。見通しの持ちやすさが決定となりました。

#### 教育長

それでは図画工作については、以上とさせていただきます。

それでは家庭について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

#### 林委員

東京書籍と開隆堂出版のデジタルコンテンツの違いはありましたか。

#### 学校教育課課長補佐

デジタルコンテンツは、両社ともに用意をされています。東京書籍は、10種類14コンテンツあります。右利き用と左利き用のものが4種類（包丁の使い方、皮の向き方、なみぬいの仕方、布のたち方）準備されています。それに対して、開隆堂は、動画が130種類134コンテンツあり、右利き用と左利き用のものが4種類（なみぬい、本返しぬい、半返しぬい、かがりぬいの仕方）用意されています。東京書籍は、

調理と裁縫、開隆堂は、裁縫の分野で、左右両方のデジタルコンテンツがありました。第2採択地区調査委員会報告にもありましたように、動画がたくさん用意されているということは、見て、身につくということもありますので、開隆堂を選定しております。

#### 教育長

デジタルコンテンツは、使用出来る環境も大切です。

実際に、デジタルコンテンツにアクセスしてみたら、たいしたことではなかったということもあります。質もあります。段階的に更新されていくと思います。

それでは家庭については、以上とさせていただきます。

それでは保健について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

#### 林委員

小学生で生活習慣病のことを取り上げていて、驚きました。

若いうちに知っておくべきことだと思いますが、学研教育みらいのほうが分かりやすいかと思いましたが、いかがだったでしょうか。

#### 学校教育課課長補佐

小学5・6年生の教科書に記載されています。

中味を比較しますと、学研教育みらいは、要点がまとまっています。また、交通事故の発生を考えさせるという点で高く評価をしています。子どもたちが、意識しやすくしています。

#### 教育長

それでは保健については、以上とさせていただきます。

それでは外国語について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

#### 田中委員

低・中・高の外国語授業を視察いたしましたが、英語の発声・発音を子どもたちは、非常に楽しく過ごしていました。ところが、小学校5・6年生は、書く、読む、聞くとなります。ハードルが高くなり、苦手意識を持たないかなと不安に思います。

5・6年は教科型ということで、3・4年は活動型というような説明を文科省はしているかと思うのですが、どの教科書も子どもの机の上に置かれまして、書いたり読んだりということが講じてきますと、私が中学校で習ったような、ある意味、味気ない、難しい外国語活動の教科にならないかという懸念を持ちます。その辺りのこと、調査委員会ではお話としてあったのでしょうか、教えてください。

学校教育課課長補佐

どのテキストも英語嫌いにさせないという観点から作られておりました。特に、読むから書く、英語、「話す」「書く」「聴く」とあるのですが、ただ、子ども達にとって話せるということは、非常に大きな武器となりますので、その領域に達するまでに、自分が単語を覚えたり、フレーズを覚えたり、そこを通過しなければ絶対に行き着きません。そういう意味では、語彙とかフレーズを自分の中にインプットする学習として、いろいろな友達、グループ活動のやり取りを通して、楽しく学べる学習の体制を組むということで、中には先ほど発表させていただいた、目的、子ども達に身近な材料、ポスターを作ったり、自分の時間割を紹介したり、案内板を作ったり、地域の人に紹介したり、自分たちがやりたいと思えるような題材を使っておりますので、そこに行き着くまでにどのような学習をしたらよいかという道筋が出来上がります。

教育長

高学年、文書の中に、新単語の意味を連想させるイラストを添えています。

第2採択地区の観点で見ていくと、どこの発行社がよいと判断されたか。

学校教育課課長補佐

第2採択地区の観点は、「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているかというものであります。その観点で各社を見ていくと、多文化共生、多様性の尊重などでは、光村図書と東京書籍は、内容、分量ともにバランスよく配置されておりました。学校図書は、少し捉えが浅いのではないかとということと三省堂や開隆堂では、扱う事項が少ないと考えられました。ですので、この観点においても、光村図書か東京書籍が優れていると判断しました。

教育長

これが、最初の教科書として、使用されるので、非常に重要だと思いました。

それでは外国語については、以上とさせていただきます。

それでは道徳について、質問、ご意見を賜りたいと思います。

教育長

昨年度は道徳ノートのこと話題に上がっていましたが、今年度は、そのような話はありませんでしたか。

学校教育課課長補佐

道徳ノートについては、昨年度話し合いがもたれ、その観点で、今年度も話し合われました。今後は評価についても考えていかなければならないので、ポートフォリオのように、学習を記録し、学びを残して置くことから、家庭でも話し合いの材料として使うこともできます。ノートにすべてを書かなくとも、担任として使えるところを使うという形で使えるのは、子どもにとっても、教師にとってもよいのではないかと考えました。ノートは必要であるという結論になりました。

田中委員

昨年度は、学研教育みらいの教科書であり、今年度の結果は、日本文教出版となり、1年で変わることに對して、子どもや先生方の負担はないのか。心配しますが大丈夫でしょうか。

学校教育課課長補佐

小学校道徳につきましては、昨年度の選定しておりますが、今年度は新たに選定をするということで、公平・公正に調査委員会での調査をしております。教師の負担があるからということでの考慮はしておりません。子どもたちは、どちらにせよ、学年が変わりますと、教科書も変わりますので、負担はないと考えております。それよりも、道徳という教科内容を身に着けやすいのどの教科用図書であるのかということをも基準に選定をしております。それよりも内容が大きく変わってきていましたので心配です。

教育長

それでは道徳については、以上とさせていただきます。

それでは特別支援学級 外国語、一般図書について、実際は、その子ども達の発達段階に応じて、あるいは障がいの程度に応じて、様々に教材・教具を工夫して指導してくれていますので、基本的には報告をいただいたとおりでいいかなと思っておりますが、質問、ご意見を賜りたいと思います。どなたかございませんか。

教育長

絵本は、字が小さいと感じました。歌の本は、CDが有りとても良かったです。

英語の本は、読み聞かせなのかなとも思いました。

教育長

それでは全体を通して、質問、ご意見を賜りたいと思います。

田中委員

福原教育長は、いつも指導されていることなのですが、教科書を勉強するのではなく、教科書で勉強するという。指導者が創意・工夫をしていくという栗東市としてゆるぎないものとしていきたいと思っています。

教育長

意見の中に、教科書に情報量が多いとありました。子どもたちにも自由があるということです。

教育長

ただ今、議論いただきましたように、今年度新たに選定をされました図書を含めまして、議案第5号「令和2年度使用栗東市立各小中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」ご異議ございませんか。

委員

異議なし

教育長

それでは、原案どおりの内容で採択いたします。

以上で令和元年8月度栗東市教育委員会臨時会を閉会いたします。

閉会宣言 12:07